

校長室だより



令和4年11月8日
校長 齋藤 瑞穂

朝夕の気温が10℃前後まで下がるようになり、校庭の木々の葉も色づいてきました。11月7日は、今年の「立冬」です。立冬とは、初めて冬の気配が現れてくる日、つまり、これから冬が始まり、寒くなっていくという節目なのです。実際に例年、立冬からの2週間で、平均気温は3℃ほども下がるそうですよ。

山茶始開～つばきはじめてひらく～

さて、冬の寒空の下であざやかに咲く花といえば、ツバキがあります。七十二候では、立冬からの5日間ほどを「山茶始開(つばきはじめてひらく)」としています。ツバキが咲き始めるころ、ということですね。



ツバキは、日本原産の樹木です。日本原産だけあって育てやすく、古くから親しまれ、愛されている花です。ただし、七十二候の「山茶」は、ツバキはツバキでも「サザンカ」といって、ツバキの中でも早い時期から咲き始める品種です。

ツバキとサザンカは別の品種ながら、とてもよく似ています。大人でも見分けるのが難しいのですが、それだけに見分けられたらちょっと自慢できますよ。

一番わかりやすい見分け方は、花の散り方です。花びらが1枚ずつ分かれて、はらはらと散るのは「サザンカ」です。一方、花全体が一度にポトリと落ちるのが「ツバキ」です。ツバキの花



↑ サザンカの散り方



↑ ツバキの散り方

が落ちる様子が、切腹の時の首を切られる様子を連想させるというので、「武士はツバキを嫌った」という話もありますが、これは明治時代よりあとに広まった俗説だそうです。他にも花の形や葉の大きさなど、見分けるポイントになる点がいくつかありますから、興味をもった人はぜひ調べてみてください。

杉七小の校庭には、ツバキもサザンカもありますよ。ぜひ見分けることに挑戦してみてください。

クイズ

なんという花でしょう？

今回は植物クイズです。校舎の西側にひっそりと咲いていたピンクの小さい花。

さて、この花は何という花でしょう。

葉の形と色に特ちょうがありますね。



保護者の皆様

立冬を迎え、北国からは雪の便りも聞こえるようになってきましたが、杉七小の校庭は、冬芝の若々しく鮮やかな、緑色の新芽に覆われています。芝生養生の賜物です。この期間、子供たちには不自由な思いをさせていますが、あと2週間の辛抱です。休み時間、怪我なくすごせるように、各クラス工夫をしているところです。

回答用紙 今回の締め切りは11月11日です。

(クイズの答え)

年 組
名まえ